

そよかせ

毎日新聞西部社会事業団だより

第97号

2017年3月

発行所 〒802-8651 北九州市小倉北区紺屋町13-1 (公財)毎日新聞西部社会事業団
 発行人 瀬尾 健悟
 電話 093-551-6675 ファクス 093-541-8009
 E-mail: s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp
 郵便振替 01770-2-40213
 URL http://www.mainichi.co.jp/seibu_shakaijigyo/

歳末チャリティー即売展 3会場に美術ファン

全国の一流作家の皆さんのご理解とご協力をいただき、毎年実施している毎日新聞西部社会事業団恒例の歳末チャリティー「全国寄贈書画・陶工芸品即売展」は昨年12月、北九州（小倉）、山口、福岡の3会場で順次開催し、常連の方を中心に美術ファンが会場を訪れた。しかし、売り上げ合計は1000万円台にとどまり、前年度を下回った。

売り上げは伸びず

即売展には、全国の洋画家、日本画家、書家、名刺の高僧、陶芸家、工芸家、芸能人ら約750人から約1250点の作品が寄せられた。これらの作品を3会場に振り分け、前年度の寄贈作品と合わせて展示・即売。いずれの会場でも、特に著名な作家から寄せられた作品約1000点は入札方式とし、2日目に集計して落札者を決めた。会期・会場は、3、4日が北九州展（北九州市小倉北区の毎日会館）▽10、11日が山口展（山口市の山口簡屋催場）▽17、18日が福岡展（福岡市中央区のアクロス福岡）。多くの皆さんに足を運んでもらおうと、今年度も事前PRに重点を置いた。チラシの作成・



お気に入りの作品を求め、来場者（16年12月、福岡会場で）

売り上げ合計は前年度を約120万円下回った。歳末展で残った作品は3月4日、北九州市の毎日会館5階の特設会場で開いた年度末展で、さらに求めやすい値段で展示・即売した。即売展の売上から諸経費を差し引いた益金は、児童福祉や障害者福祉、高齢者福祉、交通遺児支援、ホームレス自立支援などの活動に取り組み団体などへの助成金など、さまざまな福祉事業に活用する。

迫力のラリーに声援

ふうせんバレー全国大会

障害がある人もない人も一緒に楽しめる「ふうせんバレーボール」の全国大会が2016年12月11日、北九州市八幡東区の市立総合体育館であった。写真。ふうせんバレーは1989年に北九州市で生まれた競技で、鈴が入った直径40センチの風船をバドミントンのコートで打ち合う。1チームの構成は障害者

と健常者の合計6人。「全員参加」が競技のモットーで、ボールを相手コートに打ち返す前に6人全員がボールに触れることをルールとして定めている。全国大会は毎年、北九州市で行われ、今年で27回目。年々普及が進み、今年は市内のほか九州や関西、中国などの各地方から計48チームが出場した。各チ



■編集後記■ 年末に開催した歳末チャリティー「全国寄贈書画・陶工芸品即売展」では北九州、山口、福岡の3会場でも多くの皆さんに作品をお買い上げいただきました。歳末助け合い「愛の義援金」でも、たくさんの方から浄財を頂戴しました。いずれも、当事業団が予定している社会福祉事業の資金として活用させていただきます。ご協力に改めてお礼を申し上げます。



節目の年祝い

知的障害のある人の成人など、人生の節目を祝う「出発（たびだち）」を励ます「集い」（北九州市手をつなぐ育成会など主催、毎日新聞西部社会事業団後援）が28日、北九州市戸畑区のウエルとぼたであり、市内外の障害者と家族ら約200人が参加した。今年度も36回目を数える集いは、今年度や成人を迎えた障害者や今年に特別支援

たり戦を展開。風船とは思えない迫力のラリーに会場から大きな声援が送られた。

学校の卒業する予定の子どものほかに、古希や傘寿を迎えた人も出席。戸畑区の播磨弥さん（20）が「一人の大人として、就職を目指して頑張っていた」とあいさつ。当事業団が贈った記念品の目覚まし時計が全員に手渡された。この後、合唱団などのコンサートもあり、壇上と会場が一体になった大きな歌声が響いた。写真。

2016歳末助け合い「愛の義援金」 募金総額は前年並み

毎日新聞社と毎日新聞西部社会事業団が協力をお願いした2016年度の歳末助け合い募金「愛の義援金」の結果がまとまった。指定募金の海外救援金、小児がん征圧募金、東日本大震災救援金、毎日希望奨学金、熊本地震救援金を含めた募金総額は713件、681万5643円で、ほぼ前年度並みだった。一般募金は、児童養護施設や母子施設、障害児施設で生活している子どもたちへの新入学・卒業プレゼントや福祉諸団体への助成金として活用、指定募金は関係機関や団体に贈る。

「愛の義援金」は歳末の約1カ月を募集期間とし、これまでに何らかの募金をいただいた方や歳末チャリティー展で作品をご購入いただいた方々などにチラシや振込用紙などを郵送、16年度は約5600人にご協力をお願いした。

募金は、さまざまな社会福祉事業を行うための資金となる一般募金（社会福祉基金）をはじめ、熊本地震災救援金、小児がん征圧募金などの指定寄付も並行集まった浄財を寄託した福岡県飯塚市の飯塚聖母幼稚園の皆さん



して受け付け。毎日新聞の支局を訪れ学校での募金活動で集まった浄財の寄託もあった。最終的に総件数は713件で前年度比22件増加したが、募金総額は681万5643円

で、前年度より6万707円減少した。このうち、一般募金は430件で、対前年比430件増だったが、金額は約373万円と約70万円減少。熊本地震災救援金は33件で約78万9千円、小児がん征圧募金は、件数が7件減り、金額は約10万円減り、海外救援金は件数、金額とも前年を上回った。また、東日本大震災の関連募金は、毎日希望奨学金の件数は減少したが、金額は増加し、金額い

16年度歳末助け合い募金集計

	16年度		15年度		前年度比	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般募金	430	3,726,938	426	4,420,472	4	-693,534
海外救援金	67	361,085	58	344,078	9	17,007
小児がん	69	400,820	76	497,069	-7	-96,249
小計	566	4,488,843	560	5,261,619	6	-772,776
東日本大震災 救援金	8	156,000	15	296,100	-7	-140,100
希望奨学金	106	1,394,109	114	1,304,631	-8	89,478
関東・東北豪雨 災害救援金	0	0	2	20,000	-2	-20,000
熊本地震 救援金	33	776,691	0	0	33	776,691
合計	713	6,815,643	691	6,882,350	22	-66,707

★新入学・卒業祝い品プレゼント★ 65施設の491人に

当事業団では、歳末募金を原資に児童養護施設や母子施設の子どもたちへの新入学・卒業祝い品プレゼント事業を長年行っている。今年度も、福岡、山口両県の67施設を対象に、今春小学校に入学予定の子どもや中学校・高校を卒業予定の生徒たちについて調査用紙を配布、人数などを調べてもらった。その結果、対象者は65施設の491人であることが分かり、新入学児童にはランドセルやリュック、北九州あゆみの会▽障害福祉ボランティア協会―など福祉団体に活動助成金を贈った。

クサク（水筒付き）、手提げ（筆箱付き）、雨具セット、図書カードのいずれかを希望の品を、中学校・高校を卒業予定の子どもたちには目覚まし時計か図書カードを贈った。

このほか、歳末募金の第二次配分として山口県の共同募金会▽福岡県の交通遺児を支える会▽九州盲導犬協会▽福岡、北九州のいのちの電話▽北九州あゆみの会▽障害福祉ボランティア協会―など福祉団体に活動助成金を贈った。